

令和6年度第1回 緑化推進会議

次 第

日時 令和6年5月28日（火曜日）

午前10時から12時（予定）

場所 朝霞市役所 別館5階 502会議室

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 委員自己紹介
- 4 会長及び副会長の互選
- 5 議 題 （1）朝霞市みどりの基本計画の策定について
- 6 その他 連絡事項等について
- 7 閉 会

【資料】議題資料

資料1 朝霞市みどりの基本計画の策定概要（事前配布）

資料2 朝霞市のみどりの現況について（事前配布）

資料3 市民アンケートの実施について（事前配布）

資料4 朝霞市みどりの基本計画（工程表）（当日机上配布）

その他 本日の会議次第（当日差替え）

令和6年度第1回緑化推進会議に関する質問票（当日机上配布）

朝霞市みどりの基本計画（当日机上配布：新委員）

緑被率経年変化調査報告書（令和5年度）（当日机上配布）

委員名簿（当日机上配布）

朝霞市みどりの基本計画の策定概要

(1)計画改定の背景と目的

朝霞市は、都心から約20km圏内にありながら、武蔵野の面影を感じさせる豊かなみどりや水辺が分布し、自然に恵まれた住みやすいまちです。

みどりは、暮らしにうるおいや安らぎを与えてくれるほか、農業生産の場や生き物の棲みかとなり、自然災害や都市気象を緩和するなど、様々な役割を果たしています。近年では、気候変動等を始めとした災害リスクの高まり、人口減少・少子高齢化の進展、地域経済の停滞、自然環境の劣化などの多様な課題に対し、自然の持つ多機能性やしなやかな回復能力などの特性を賢く活用するまちづくりの手法「グリーンインフラ」が世界的に広がっています。

本市においては、現行の「朝霞市みどりの基本計画」のもと、貴重な緑地の保全や公園整備、民有地の緑化、郷土のみどりを活かしたイベントの開催など、市内のみどりの保全や育成に努めてきたところですが、良好な居住環境を有する本市では、開発などにより身近なみどりが徐々に失われつつあり、都市の発展と自然環境保全との調和が大きな課題になっています。

現行のみどりの基本計画におきましては、令和7年度を計画最終年次としていることから、これまでの計画の達成度と施策の検証、緑地データの更新を行うとともに、「総合計画」や「都市計画マスタープラン」等の関連計画と整合をとりながら、更なる緑化の推進と保全を図ることを目的として、計画改定を進めるものです。

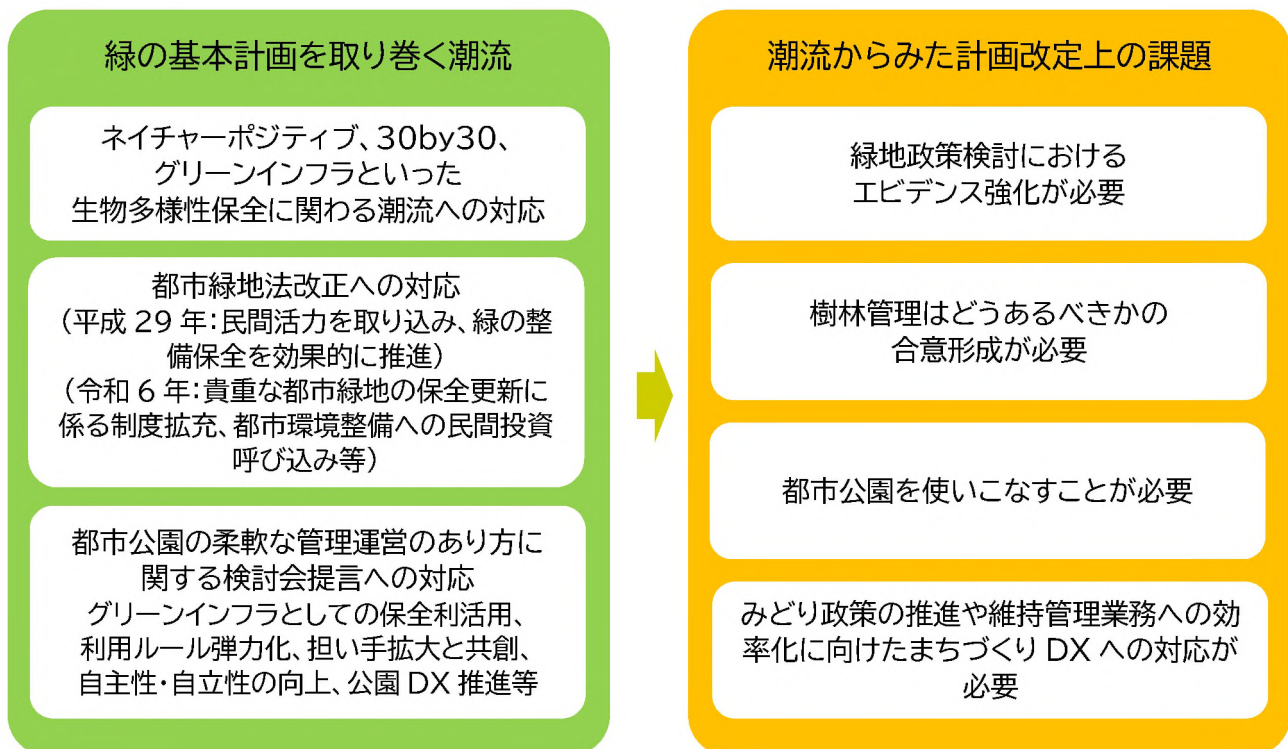


図 計画改定の視点(案)

(2)朝霞市みどりの基本計画の位置づけ

①「緑の基本計画」とは

「緑の基本計画」とは、都市緑地法第4条第1項に基づく「市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」のことです。中長期的な視点から、都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する措置を定めるものであり、緑地の保全、公共施設や民有地の緑化、公園の整備・管理など、市内の緑全般を対象として、市民の身近にある水や緑、生きものと調和したまちづくりを進めていくための基本となる計画です。

本市では、平成 28 年に改定された現行計画より「みどりの基本計画」の名称としています。

②計画の位置づけ

本計画は、本市のみどりにかかわる総合的な計画です。朝霞市総合計画を上位計画とし、都市計画マスタープランなど、まちづくりに関連する様々な計画と整合を図ります。

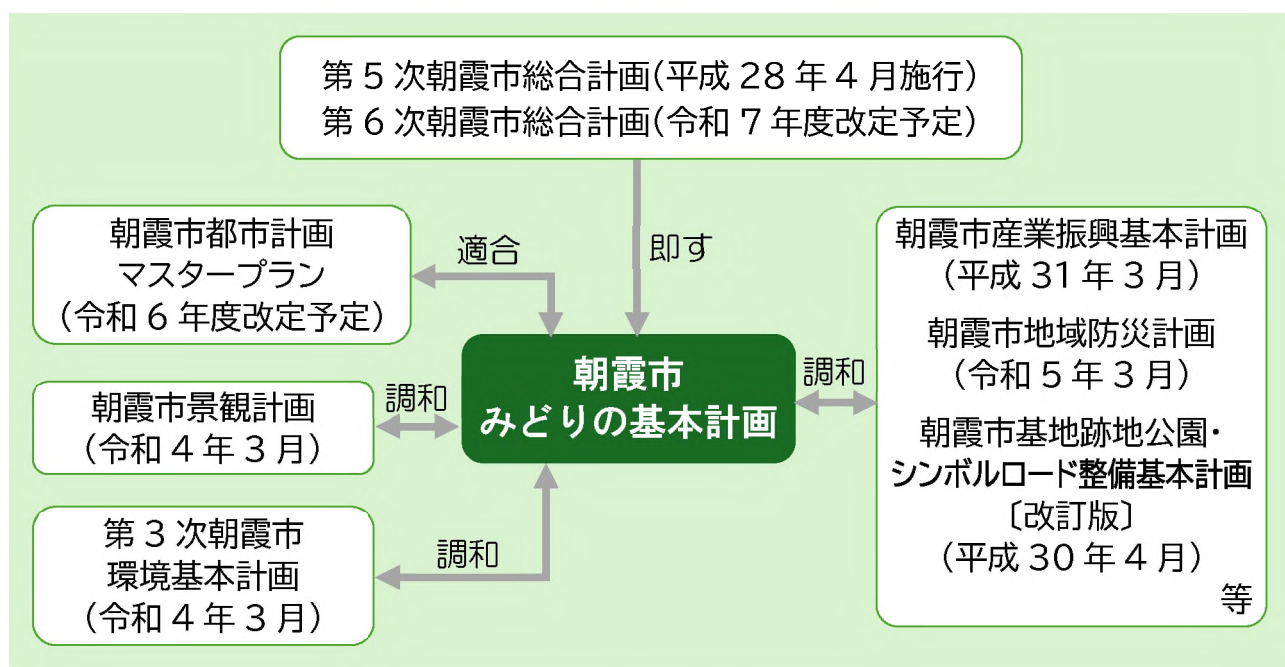


図 計画の位置づけ

③計画期間

計画期間は、中長期的な展望を見据えつつ、令和 8(2026)年度から令和 17(2035)年度までとします。

④対象区域

対象区域は、朝霞市の都市計画区域(本市全域)とします。

⑤検討体制

改定にあたっては、「朝霞市緑化推進会議」に諮問し、答申をいただきます。

また、庁内会議として「朝霞市緑の基本計画庁内検討委員会」を設置し、計画案の報告や関連計画との調整を図ります。

なお、市民アンケート調査やワークショップを行うとともに、パブリックコメント等を実施することにより、市民意見を反映します。

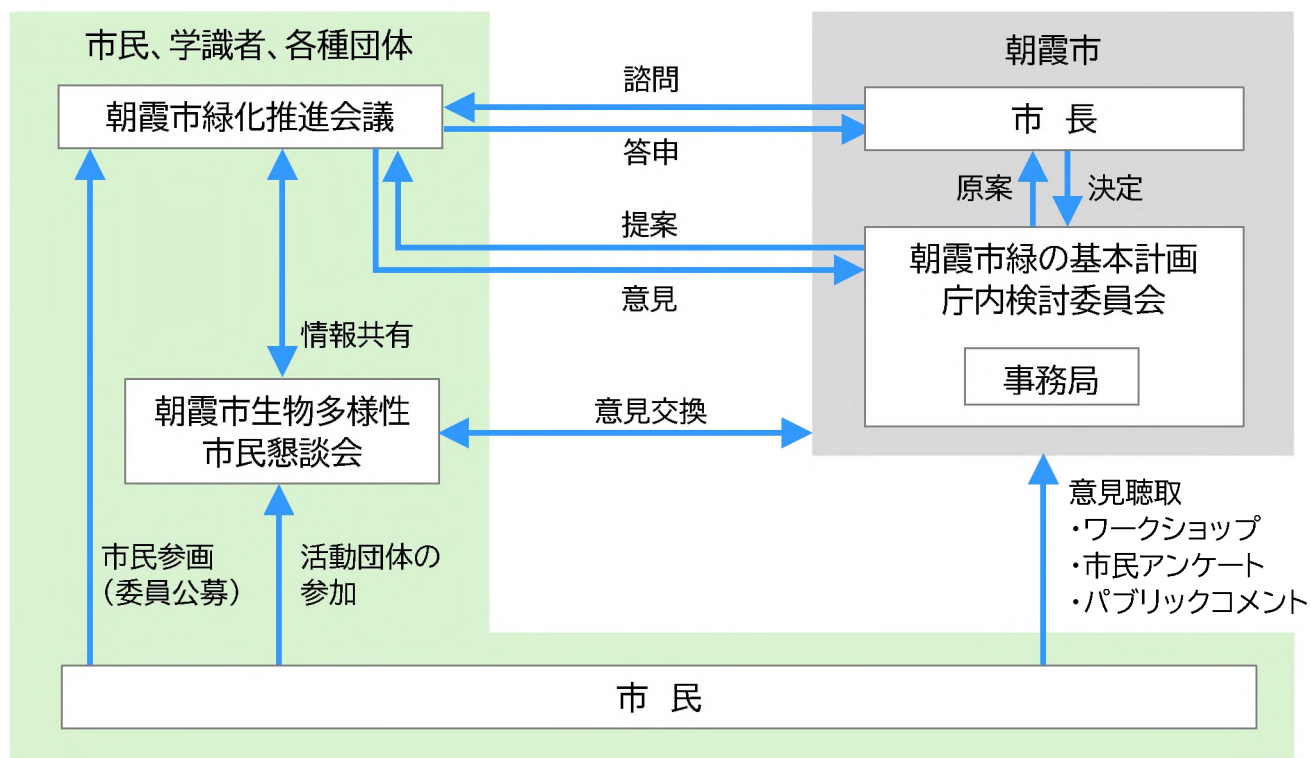


図 策定体制図

⑥計画改定スケジュール

計画改定のスケジュールは以下のように予定しています。

		計画改定に向けた取り組み			会議等			
令和6年度	4月	関連計画や 他部局の 諸施策等の 整理	みどりの 現況の把握	市民 アンケート 調査の実施	第1回庁内委員会			
	5月		緑地現況の 把握		第2回庁内委員会			
	6月				第1回緑化推進会議			
	7月	社会的 自然的状況の 把握	グリーン インフラの 多面的効用に 係わる解析		第1回生物多様性市民懇談会			
	8月					第3回庁内委員会		
	9月					第2回緑化推進会議		
	10月	現行計画の 達成度と 施策の検証			シンボルロードの 緑地管理に関する 方向性の検討			
	11月							
	12月							
	1月	課題の整理 及び計画策定の方 向性の検討			第2回生物多様性市民懇談会			
	2月	緑の 将来像の 検討			目標水準の 設定	第4回庁内委員会		
	3月					第3回緑化推進会議 第1回ワークショップ 第2回ワークショップ 第5回庁内委員会 第4回緑化推進会議		
令和7年度	4月	実現のための 施策の検討	地域別 計画	シンボルロードの 緑地管理に関する 基本方針の作成	第6回庁内委員会			
	5月				第5回緑化推進会議			
	6月				第3回生物多様性市民懇談会			
	7月							
	8月				第7回庁内委員会			
	9月				第6回緑化推進会議			
	10月	計画素案の作成			第8回庁内委員会			
	11月	みどりの基本計画案の作成			第7回緑化推進会議			
	12月				第4回生物多様性市民懇談会			
	1月				パブコメ・市民説明会			
	2月	公表用データの作成			第9回庁内委員会			
	3月				第8回緑化推進会議			

図 計画改定のスケジュール

(3)「みどり」とその働き

①「みどり」と「緑地」について

「みどり」は、気候変動の緩和、多様な生物の生息・生育環境の確保、地域の防災性の向上、スポーツ・レクリエーション、自然とのふれあいの場の形成等の役割を担っており、健全な都市生活を営む上で必要不可欠な環境基盤となっています。また、良好な都市景観、自然、歴史文化を伝える郷土景観の形成に寄与します。さらに、緑とのふれあいを通じて、人と人のつながりが生まれ、コミュニティの形成、生活文化の形成にもつながっていきます。

本計画が対象とする「みどり」は、樹木や草花等に加えて、農地や河川、公園等まで幅広く、市が管理する緑だけでなく、民間事業者の敷地や個人の住宅等の緑も含めるものとします。

また、「みどり」のうち、法的に、または社会通念上永続性が担保されているものを「緑地」とし、緑地率など量的目標の対象としています。

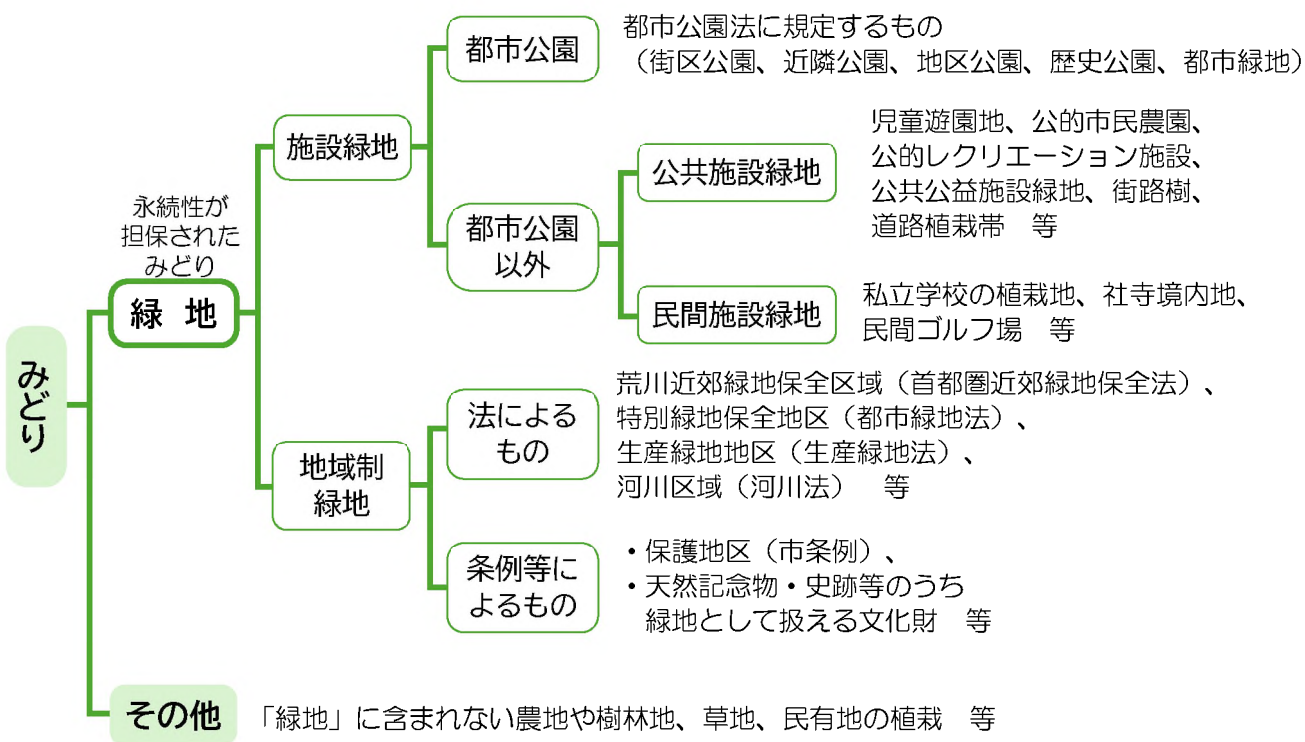


図 本計画における「みどり」と「緑地」

①「グリーンインフラ」とその働き

緑には、私たちの暮らしを支える多様な機能があります。この緑が有する多様な機能を活用し、持続可能な地域づくりを支える社会基盤のことを「グリーン・インフラストラクチャー(グリーンインフラ)」といいます。本計画においても、緑のもつ多面的な機能を積極的に活かす、グリーンインフラの取組を検討します。

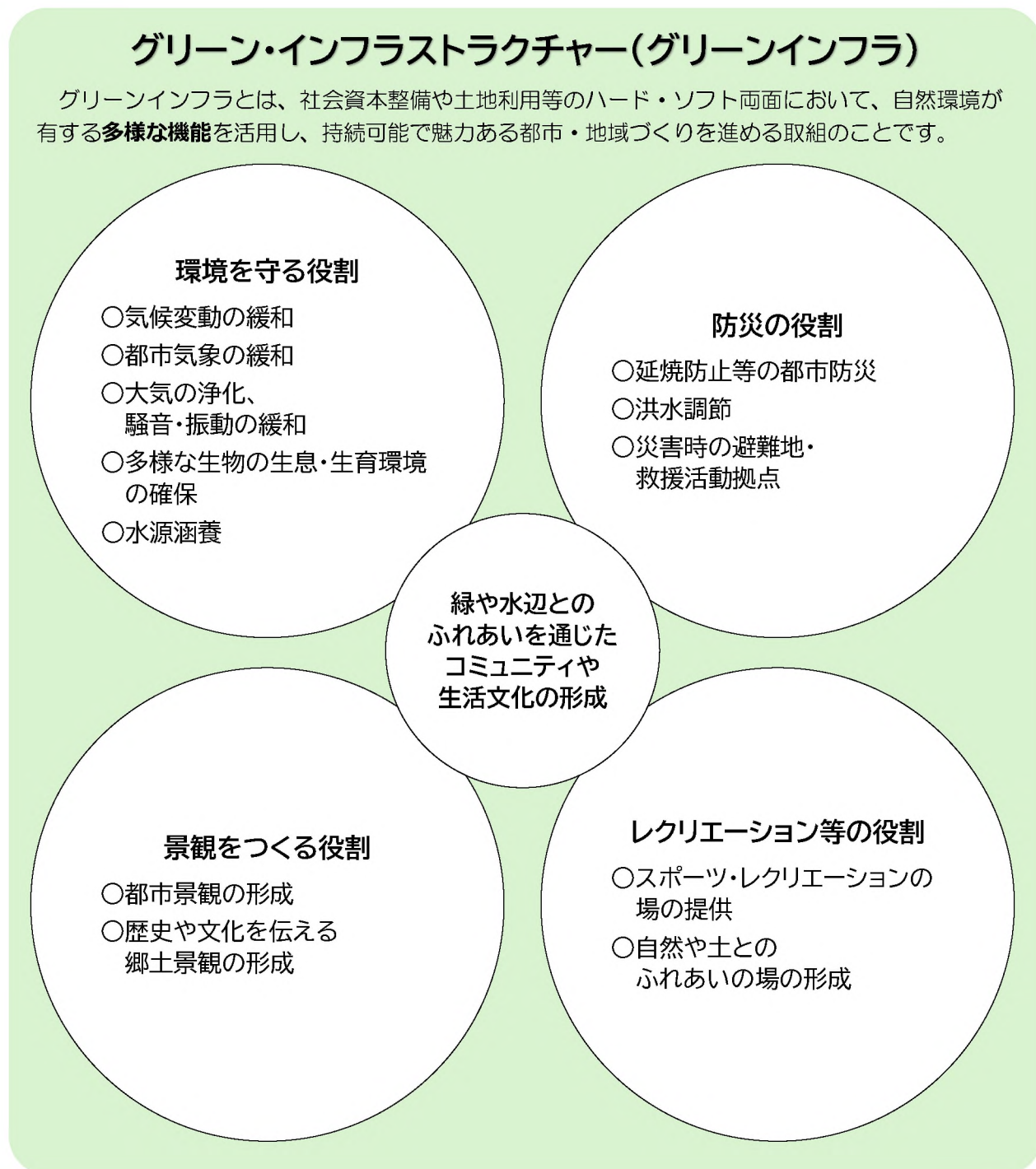


図 グリーンインフラとその働き

朝霞市のみどりの現況について

(1)市全域の緑被面積及び緑被率の経年変化

令和 5 年の朝霞市の現況の緑被地面積は、6,383,173 ㎡(緑被率 34.80%)であった。緑被率は、昭和 48 年から平成 20 年にかけて減少し、平成 25 年には 37.54%に上昇している。原因として、平成 20 年までは対象とする面積が 25 ㎡だったが、平成 25 年からは対象とする面積が 10 ㎡となり、より詳細な緑を抽出することが可能となったことから、緑被率が上昇したものと考えられる。

しかし、平成 30 年以降の緑被率をみると、平成 30 年は平成 25 年と比較し 1.44%減少、令和 5 年では平成 30 年と比較し 1.30%減少している。これは、本市が首都圏に位置しており、人口増加や都市化の進展により緑地の量が減少しているものと考えられる。

表 市全体の緑被地面積及び緑被率の経年変化

	昭和 48 年	昭和 53 年	昭和 58 年	昭和 63 年	平成 4 年
緑被地面積(㎡)	9,112,798	7,866,824	7,934,864	7,286,355	7,211,697
緑被率(%)	49.75	42.95	43.32	39.78	39.37
	平成 15 年	平成 20 年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年
緑被地面積(㎡)	6,139,500	6,107,178	6,899,751	6,619,932	6,383,173
緑被率(%)	33.52	33.34	37.54	36.10	34.80

※昭和 48 年から平成 20 年までについては、総面積を 18.317km²として緑被率を計算した。
平成 25 年は総面積を 18.38k ㎡、平成 30 年以降は 18.34km²で緑被率を計算した。

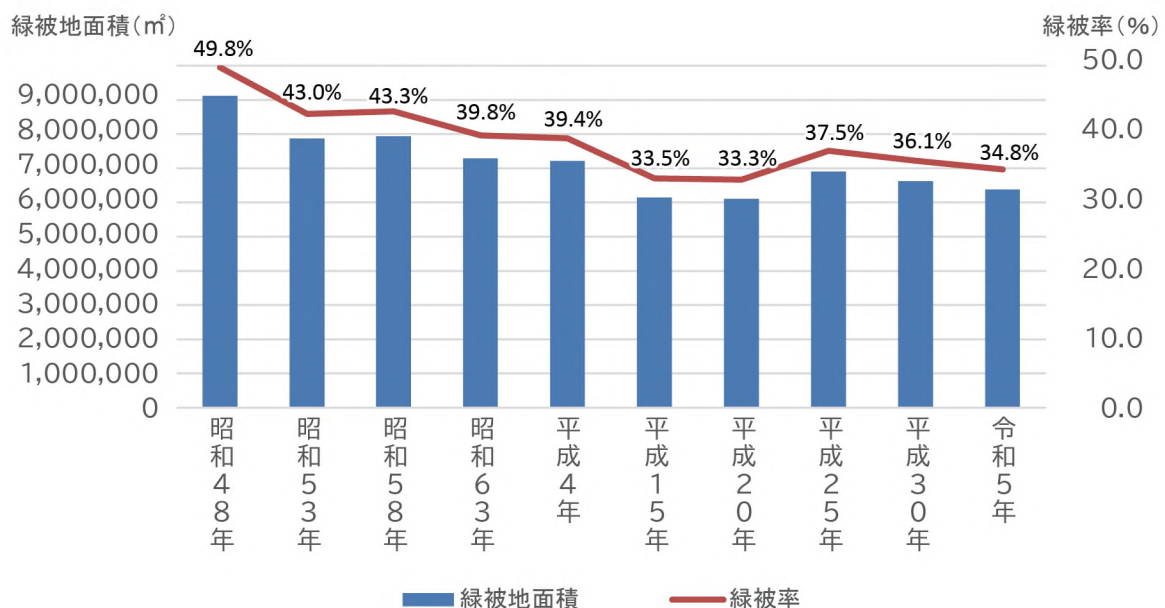


図 市全体の緑被率の推移

出所：R5 年緑被率経年変化調査報告書（朝霞市）

(2)緑被区分による緑被面積の経年変化

緑被地分類(7 区分)の面積は、昭和 48 年から継続して、「農地(C)」が最も多く、次いで「公共的施設以外の草地(B2)」の順となっている。一方、上位 3 位以降は年度によって異なり、平成 4 年は「林地(A1)」、平成 15 年と平成 20 年は「公共的施設の草地(B1)」、平成 25 年以降は「公共的施設の樹林樹木(A2)」が第 3 位となっている。

なお、「農地(C)」の面積は、確実に減少傾向にある。

表 緑被区分による緑被面積の経年変化

面積 (㎡)	昭和48年	昭和53年	昭和58年	昭和63年	平成 4 年	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年	令和 5 年	R05-H30 の増減
A 1 林 地	1,046,104	840,160	797,724	672,750	530,718	343,012	260,376	372,123	327,888	293,459	▲ 34,429
A 2 公共的施設の樹林樹木	244,630	292,705	403,459	419,520	381,747	334,324	437,091	779,419	742,851	748,742	5,891
A 3 公共的施設以外の樹林樹木	499,310	405,203	391,218	308,614	418,169	209,563	187,319	736,490	679,874	703,258	23,384
B 1 公共的施設の草地	328,990	336,240	469,332	507,410	481,790	523,566	743,529	528,234	554,976	548,925	▲ 6,051
B 2 公共的施設以外の草地	1,362,827	1,346,980	1,479,773	1,333,025	1,487,284	1,547,818	1,497,224	1,639,599	1,699,476	1,668,459	▲ 31,017
C 農 地	5,263,836	4,233,819	3,947,602	3,609,483	3,437,151	2,684,299	2,464,647	2,351,686	2,122,798	1,927,141	▲ 195,657
D 水 面	417,101	411,717	445,756	435,553	474,838	496,918	516,992	492,201	492,071	493,190	1,119
合 計	9,162,798	7,866,824	7,934,864	7,286,355	7,211,697	6,139,500	6,107,178	6,899,751	6,619,932	6,383,173	▲ 236,759

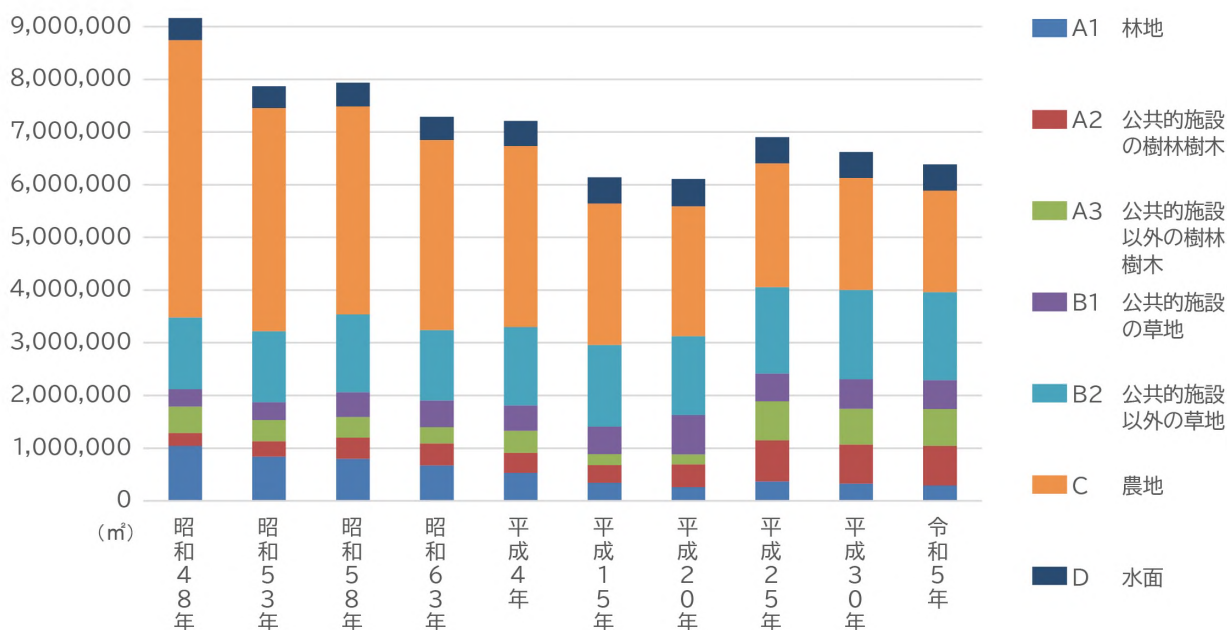
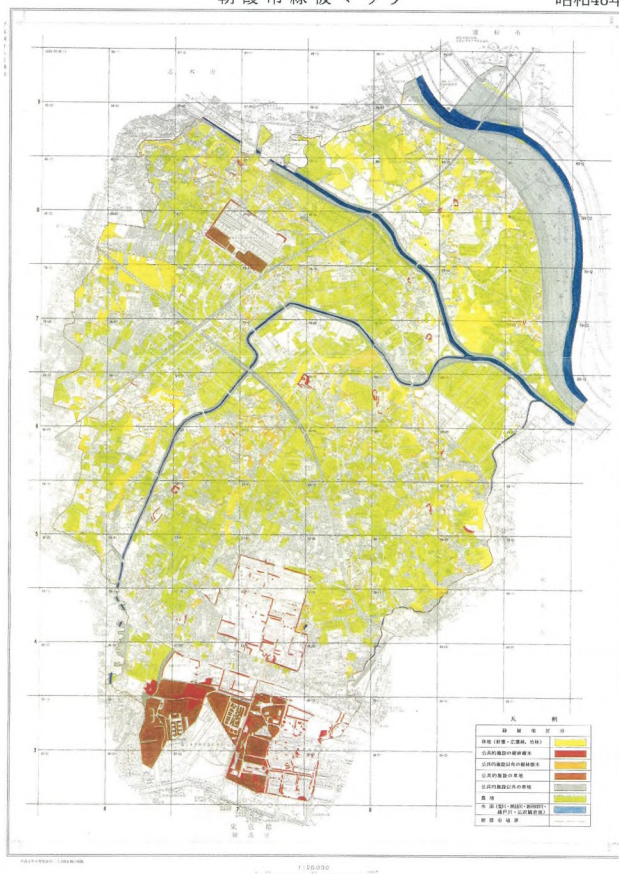


図 緑被区分による緑被面積の経年変化

出所：R5 年緑被率経年変化調査報告書（朝霞市）

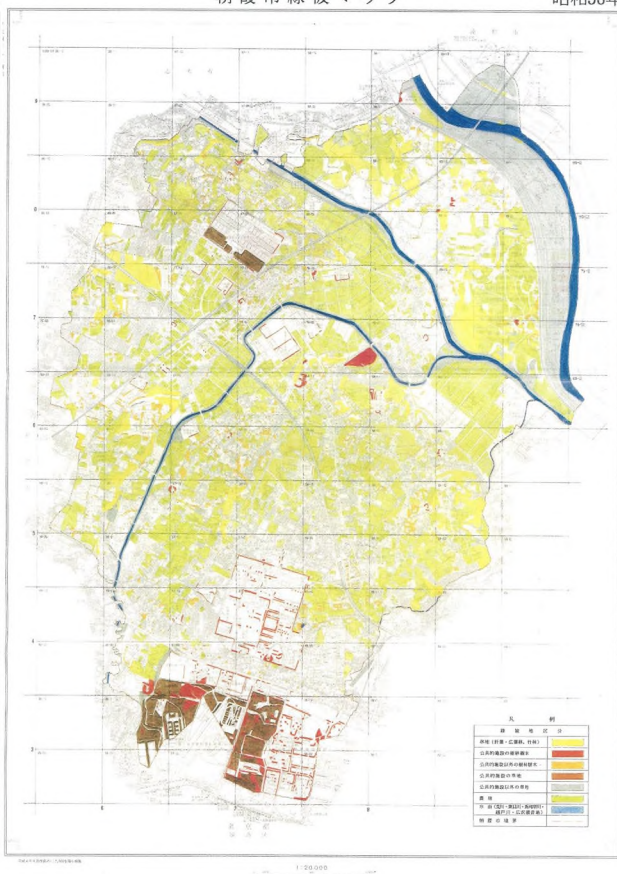
朝霞市緑被マップ

昭和48年



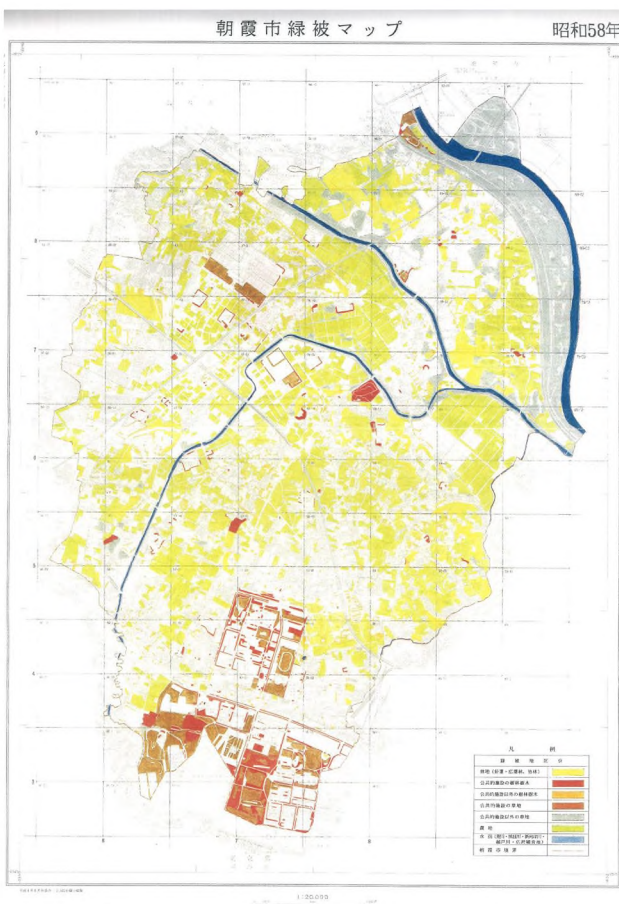
朝霞市緑被マップ

昭和53年



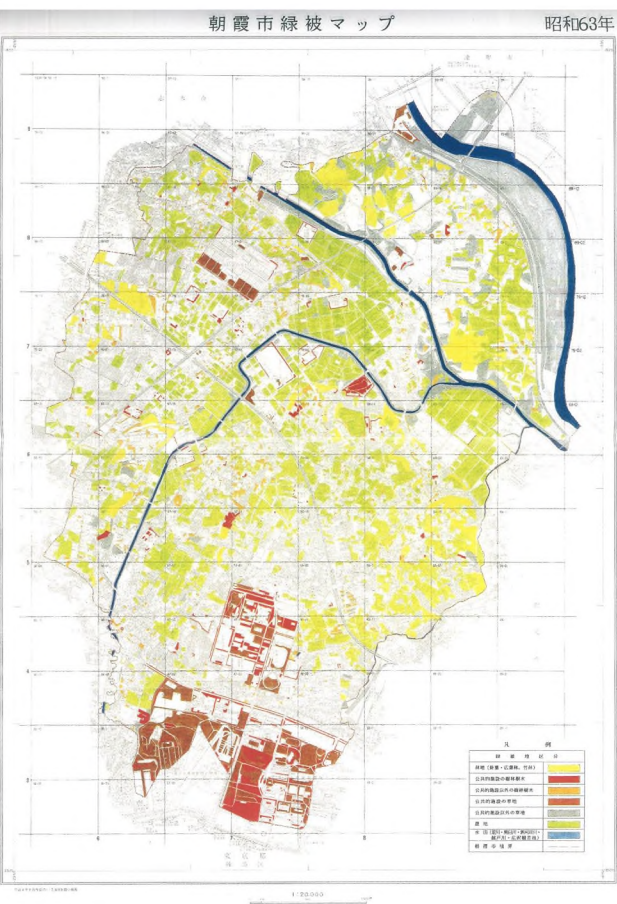
朝霞市緑被マップ

昭和58年



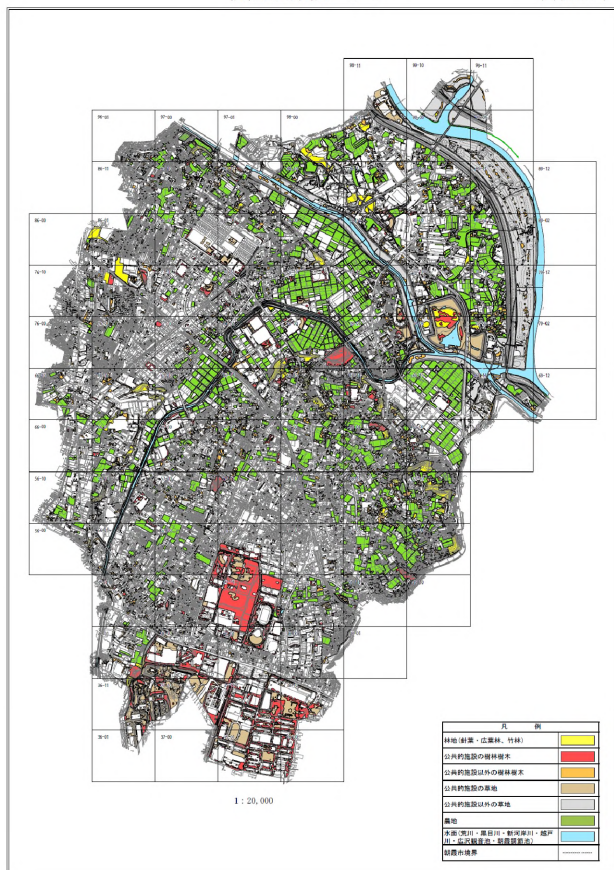
朝霞市緑被マップ

昭和63年



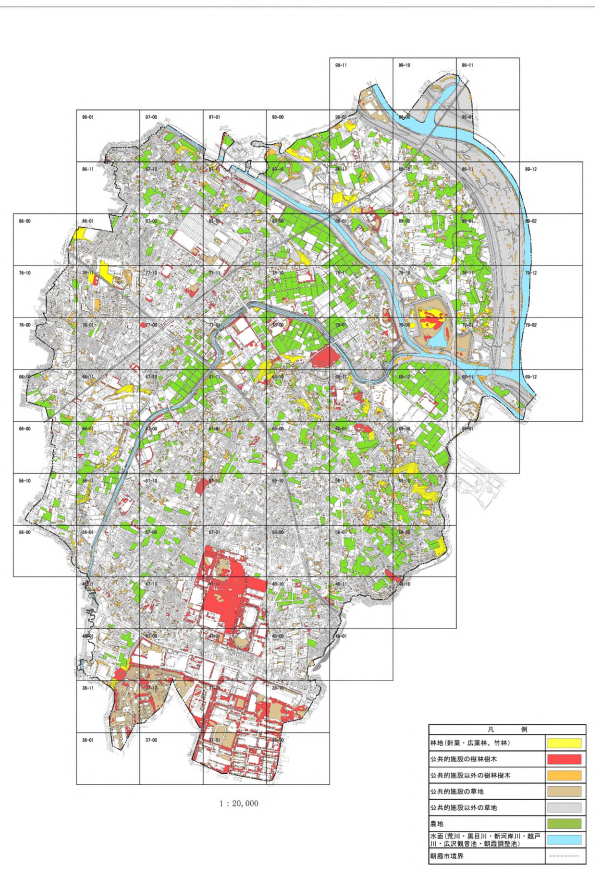
朝霞市緑被マップ

平成30年



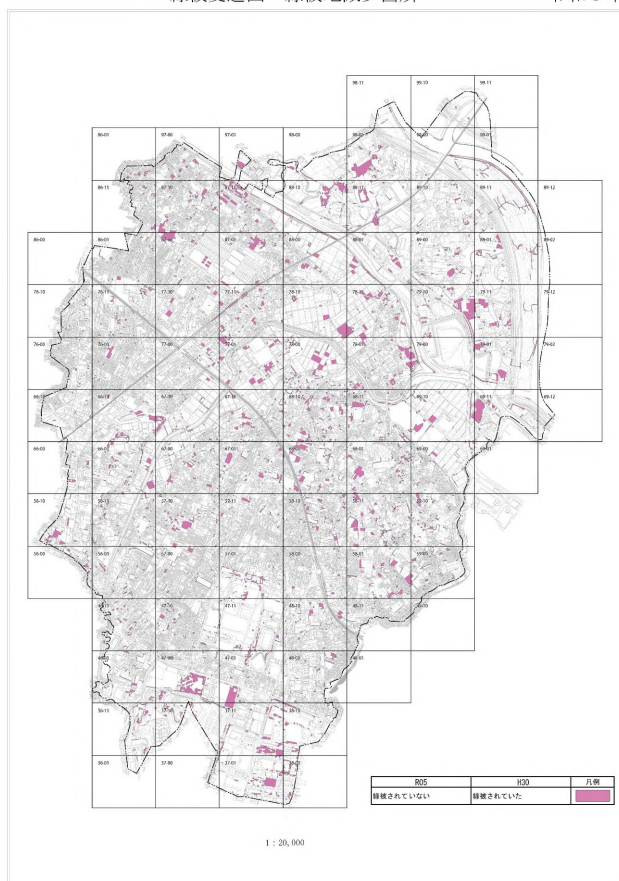
朝霞市緑被マップ

令和5年



緑被変遷図 緑被地減少箇所

令和5年



出所：R5 年緑被率経年変化調査報告書（朝霞市）

市民アンケートの実施について

1. 目的

現行の「朝霞市みどりの基本計画」の改定にあたり、本市の緑や水などの自然環境について、平成 10 年度の調査以降の市民意識の変化を把握するとともに、今後のみどりのまちづくりに対する意向を把握し、計画改定の方角を位置づける基礎資料として反映することを目的とします。

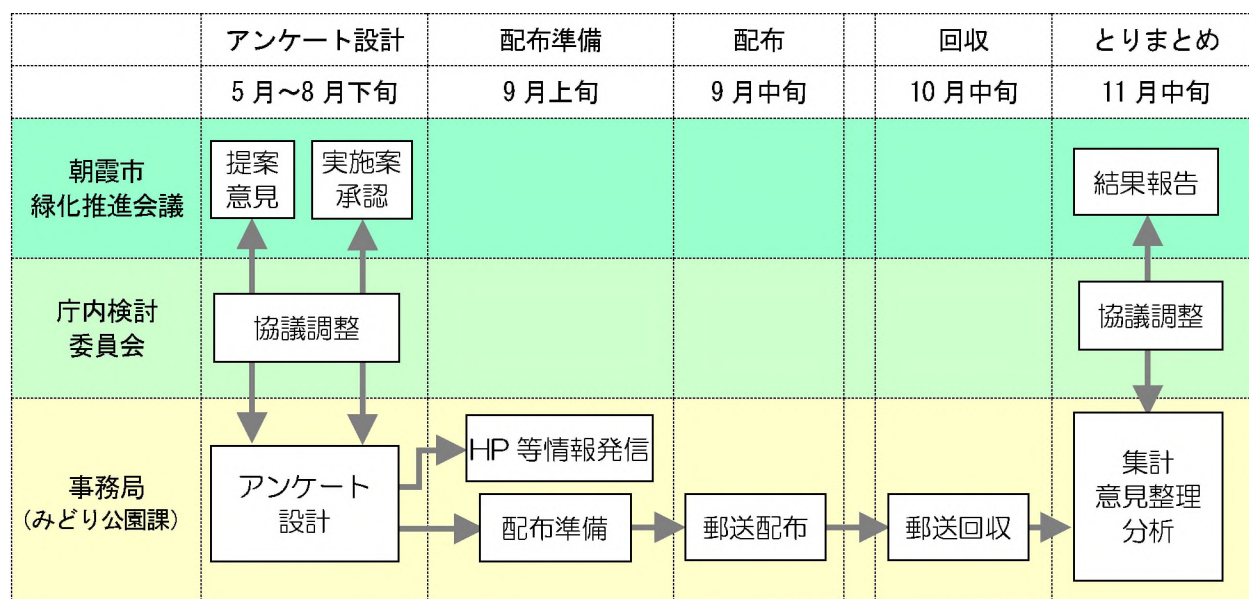
- 身近な緑の豊かさに係わる主観評価の経年的変化の把握
- 緑の基本計画における目標指標の設定に係る検討資料に活用
- 緑の機能別評価に用いる現況評価取得
- 生物多様性の視点を含むグリーンインフラの多面的効用に関わる認知度や重視すべき効用の把握
- アンケート調査を契機としたグリーンインフラ、緑のまちづくりの啓発

2. 調査方法

1) アンケートの対象、配布回収方法

- ・ 市内に在住する 16 歳以上の市民 3000 人とし、地域人口を勘案して抽出
- ・ 配布 → 無作為抽出による市民に、依頼状、アンケート用紙、返信用封筒を郵送
- ・ 回収 → 返信用封筒、及び WEB 回答
- ・ 発送: 受託者、回収: 返信先は朝霞市役所みどり公園課

2) スケジュール



3. 設問検討

設問は以下の視点に基づき検討しました。

- a. 回答者属性による年代別、地域別等の特性把握
- b. 平成 10 年度、および平成 26 年度アンケート調査結果との比較による経年変化の把握
- c. 緑の資源の抽出
- d. 緑の多面的効用についての認知度と重視する視点
- e. 重要な施策
- f. 公園の利用頻度や課題
- g. 緑化活動への意欲
- h. 公園等イベント参加実績と参加への評価
- i. アンケート調査を通じた緑のまちづくりの普及啓発

視点	設 問	分析目的
a	【属性】性別、年齢、職業、居住地、居住歴	世代別、地域別等の特性把握
b	【問 1】住んでいる地域の緑の豊かさの評価	緑の量に関わる主観評価
b	【問 2】住んでいる地域の緑の魅力の評価	緑の魅力に関わる主観評価
c	【問 3】市内の魅力的な緑	緑資源の抽出
e	【問 4】緑のまちづくりの重要な施策	今後の施策の優先度
f	【問 5】公園の利用頻度	都市公園の魅力向上検討に係る指標として把握
f	【問 6】最寄りの公園の使いやすさ	都市公園の魅力向上検討に係る指標として把握
g	【問 7】取り組みたい緑化活動	緑のまちづくり活動の実態把握
h	【問 8】公園等のイベントの参加実績	イベント参加状況の把握
h	【問 9】公園等のイベント参加への評価	イベント参加に関わる主観評価 今後の公園イベントへのフィードバック
d	【問 10】緑の多面的効用の認知度	グリーンインフラの多面的効用の認知度の把握 グリーンインフラの普及啓発
de	【問 11】緑の多面的効用で重視する視点	緑の効用別解析評価の統合評価に関わる重み付けに利用
	自由意見	自由回答による課題や提案の把握

※平成 26 年度調査における設問数は 13 問

朝霞市緑の市民アンケート調査についてご協力をお願い

市民の皆様へ

市民の皆様には、日頃から市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

朝霞市では、平成 12 年に「朝霞市緑の基本計画」を策定し、平成 18 年及び平成 28 年に計画改定を行い、市内の貴重な緑を守り育ててきました。現行の緑の基本計画におきましては、令和 7 年度を計画最終年次としていることから、これまでの計画の達成度と施策の検証、緑地データの更新を行うとともに、策定・改定を進めている「都市計画マスタープラン」等の関連計画と整合をとりながら、更なる緑化の推進と保全を図ることを目的として、計画改定を進めています。

このアンケート調査は、市民の皆様のご意見をお伺いし、計画改定にあたって大切な資料とさせていただきますものです。つきましては、ご多忙中大変恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年●月

朝霞市長 富岡 勝則

【ご記入にあたって】

- 質問への回答は、宛名にあるご本人がお答えください。
- 高齢者の方などでご自身での記入が難しい方は、ご家族に代筆をお願い致します。
- 当てはまる項目について、直接調査票に○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の（ ）内にその内容等についてご記入ください。
- 回答時間の目安は 15 分程度です。
- ご記入いただいた調査票は、令和 6 年（2024 年）●月●日（●）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- 調査票や返信用封筒にお名前やご住所を書いていただく必要はありません。返信の際は「調査票」のみ封筒に入れてください。

【Web 回答について】

- 回答は、Web から行うことができます。希望される方は、以下の二次元コードまたは URL (<https://forms.gle/.....>) から本調査専用サイトにアクセスし、ご回答ください。
- お使いの端末により、回答途中で進めなくなる場合があります。その場合は、大変お手数ですが、調査票にご記入の上、返信くださいますようお願いいたします。
- Web 回答の回答期限は、令和 6 年（2024 年）●月●日（●）までとなります。

【問い合わせ先】 朝霞市 都市建設部 みどり公園課
電話：048-463-0374（直通）
メール：midori_koen@city.asaka.lg.jp

QR コード

朝霞市緑の市民アンケート調査票

まず、あなたご自身について、あてはまるものを選んでください。

1. 性別 ①男 ②女 ③回答しない

要検討

2. 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代

⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

3. 居住地 どの町丁目にお住まいですか。

お住いの町丁目住所に○を付けてください。



内間木地域	大字上内間木、大字下内間木、大字浜崎の一部、大字宮戸の一部、大字田島の一部
北部地域	北原1丁目、北原2丁目、西原1丁目、西原2丁目、朝志ヶ丘1丁目、朝志ヶ丘2丁目、朝志ヶ丘3丁目、朝志ヶ丘4丁目、宮戸1丁目、宮戸2丁目、宮戸3丁目、宮戸4丁目、浜崎1丁目、浜崎2丁目、浜崎3丁目、浜崎4丁目、田島1丁目、田島2丁目、大字宮戸の一部、大字浜崎の一部、大字田島の一部
東部地域	岡1丁目、岡2丁目、岡3丁目、根岸台1丁目、根岸台2丁目、根岸台3丁目、根岸台4丁目、根岸台5丁目、根岸台6丁目、根岸台7丁目、根岸台8丁目、仲町1丁目、仲町2丁目、大字岡、大字根岸、大字台、大字溝沼の一部
西部地域	三原1丁目、三原2丁目、三原3丁目、三原4丁目、三原5丁目、西弁財1丁目、西弁財2丁目、東弁財1丁目、東弁財2丁目、東弁財3丁目、泉水1丁目、泉水2丁目、泉水3丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字浜崎の一部
南部地域	本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目、溝沼1丁目、溝沼2丁目、溝沼3丁目、溝沼4丁目、溝沼5丁目、溝沼6丁目、溝沼7丁目、幸町1丁目、幸町2丁目、幸町3丁目、栄町1丁目、栄町2丁目、栄町3丁目、栄町4丁目、栄町5丁目、青葉台1丁目、膝折町1丁目、膝折町2丁目、膝折町5丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字膝折、基地跡地、陸上自衛隊朝霞駐屯地

4. 職業 ①農業（主として） ②会社員または公務員 ③自営業
④生徒・学生 ⑤家事従事 ⑥パートタイマー
⑦無職 ⑧その他（ ）

5. 居住歴 ①5年未満 ②5～10年未満 ③10～15年未満 ④15～20年未満
⑤20年以上

次に、緑のまちづくりについて、以下の質問にお答えください。

H26年度調査継続設問

満足度に寄せた設問として要検討

問1 あなたが住んでいる地域の自然環境や木々の緑は豊かであると思いますか。以下の項目それぞれについて1つ、選んでください。

- | | 多い
① | まあまあ多い
② | 普通
③ | やや少ない
④ | 非常に少ない
⑤ |
|------------------------|---------|-------------|---------|------------|-------------|
| (1) 自然環境
(河川や斜面林など) | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (2) 公園の緑 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (3) 建物の敷地内の緑 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (4) 街路樹 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (5) お住まいの
地域全体の緑 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

H26年度調査継続設問

問2 あなたが住んでいる地域の自然の緑は魅力的でしょうか？それぞれの項目について1つ、選んでください。

- | | 魅力的
① | まあまあ
魅力的
② | 普通
③ | あまり
魅力的でない
④ | まったく
魅力的でない
⑤ |
|------------------------|----------|------------------|---------|--------------------|---------------------|
| (1) 自然環境
(河川や斜面林など) | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (2) 公園の緑 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (3) 建物の敷地内の緑 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (4) 街路樹 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (5) お住まいの
地域全体の緑 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

H26年度調査継続設問

問3 あなたは、市内のどんな場所で、緑・自然が豊か、魅力的であると感じますか。

例) 黒目川沿いの桜並木、緑豊かなシンボルロード など

問4

緑のまちづくりを推進するために、必要だと思われる次の施策のうち、とくに重要だと思われるものを3つ以内で選んでください。

- ① 緑のための募金活動
- ② 緑の大切さの指導
- ③ 自然環境として貴重な樹木、樹林地を保存樹木・樹林地として指定
- ④ 結婚や新築の記念として記念樹を贈呈
- ⑤ みどりの日の草花配布など花いっぱい運動
- ⑥ 都市緑化月間における苗木配布など啓発事業の開催
- ⑦ 民有地の開発における緑化指導
- ⑧ 新たな生垣の設置に対する奨励金
- ⑨ いなくなった樹木の斡旋
- ⑩ みどりの基金の設置および寄付
- ⑪ 花壇・プランター等の管理をしていただく団体の育成
- ⑫ 身近な公園の設計への市民参加
- ⑬ ビオトープ(湿地など小動物の生息空間)の保全、創出

問5

あなたはどのくらいの頻度で、市内の公園を利用していますか。

概ねの回数をご記入ください。

この1年間に利用したことがなければ1年間に0回とご記入ください。

1週間に()回 1か月に()回 1年間に()回



いずれかのカッコに、数字をご記入ください。

- 問 6** お住まいの近くにある公園についておたずねします。公園の名称をご記入いただき、以下の項目について“そう思う”から“そう思わない”まで5段階で評価して番号に○をつけてください。

お住まいの近くにある 公園の名称	
---------------------	--

- | | そう思う | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | どちらでもない | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | そう思わない |
|-----------------------|------|---|---|---|---|---|---------|---|---|---|---|---|--------|
| (1) ベンチなどの休憩施設が充実している | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 安全に遊べる遊具が充実している | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 公園の植物がよい景観をつくっている | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 夏場の日よけになる木陰が十分ある | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 樹木が成長しすぎて見通しが良くない | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 雑草が繁茂するため利用しにくい | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 防犯上心配で利用しにくい | | | | | | | | | | | | | |
| (8) 近くの住民によく利用されている | | | | | | | | | | | | | |
| (9) 特定の利用者が占有して利用しにくい | | | | | | | | | | | | | |
| (10) 身近な環境に公園がある | | | | | | | | | | | | | |

問7 ご自分でどのような緑化を手がけたい（または手がけている）と思いますか。あてはまるものを、いくつでも選んでください。

- ① 庭に木や花を育てる
- ② バランダや室内に植木鉢などを使って木や花を育てる
- ③ 生垣をつくる
- ④ 市民農園や近所の空き地を借りて草花や野菜を育てる
- ⑤ 地域の団体に木や花を育てる
- ⑥ 緑を大切にする運動に参加する
- ⑦ 緑化に関する講習会に参加する
- ⑧ その他()
- ⑨ 緑化をしたいとは思わない
- ⑩ 緑化をしたいと思うが場所がない

問8 市内の公園や緑地等で行われているイベントやまつりに参加したことはありますか。以下の項目毎に参加経験の（ある・ない）をお選びください。

① 彩夏祭	ある ・ ない
② ASAKA STREET TERRACE	ある ・ ない
③ あさか冬のあかりテラス	ある ・ ない
④ 黒目川 花まつり	ある ・ ない
⑤ 黒目川 川まつり	ある ・ ない
⑥ 黒目川健康ウォークラリー&ウォークロゲイニング	ある ・ ない
⑦ 朝霞の森 秋まつり	ある ・ ない
⑧ 朝霞の森 プレーパーク	ある ・ ない
⑨ 移動式プレーパーク(市内公園各所)	ある ・ ない
⑩ 身近な公園で開催される納涼祭やイベント	ある ・ ない
⑪ 北朝霞どんぶり王選手権	ある ・ ない
⑫ 里山観察会	ある ・ ない
⑬ じゃがいも堀り等の農業収穫体験	ある ・ ない
⑭ 公園づくりのワークショップ	ある ・ ない
⑮ その他 []	

問 9 問7で「ある」のあった方だけお答えください。あなたが公園等のイベントに参加してよかったことについてお伺いします。以下の項目について“そう思う”から“そう思わない”まで5段階で評価して番号に○をつけてください。

- | | そう思う | どちらでもない | | | そう思わない |
|---------------------------|------|---------|---|---|--------|
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (1) 楽しかった | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (2) 地域の方との交流が深まった | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (3) 仲間や友人が持てた | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (4) 環境保全への関心がより高まった | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (5) 公共事業やイベントへの関心・理解が深まった | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (6) 健康的に過ごせるようになった | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (7) 活動の成果を感じられた | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (8) 社会に貢献している実感が持てた | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (9) 自分の技術や知識を向上することができた | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |

問 10 自然環境が有する多様な機能を活用して、社会における様々な課題解決に活用しようとするまちづくりの手法「グリーンインフラ」が注目されています。自然環境が有する機能のうち、あなたが知っているものをすべて選んでください。

- ① 生き物の生息空間となり身近な生き物や地域固有の生き物を守る機能
- ② CO₂ の吸収源となり地球温暖化を緩和する機能
- ③ 日射の緩和、蒸散作用により都市の気温の上昇を緩和する機能
- ④ 水害の軽減など自然災害による被害を軽減する機能
- ⑤ 避難地や防災拠点として災害時の生活を復旧・支援する機能
- ⑥ 水田や畑、果樹園などの農業活動の場となる食料供給機能
- ⑦ 子どもの遊び場や散策の場となるレクリエーション機能
- ⑧ 癒しや安らぎをもたらす、精神衛生を保つ機能
- ⑨ まちの美観、郷土の風景を形成する機能

問 11 緑を守るための仮定の支払い意思をお尋ねします。

いま総額 100 円をもっていると仮定し、以下の機能を有する緑を購入していただきます。それぞれの機能を有する緑を対象に、大事と思う緑に多く、それほど大事ではないと思う緑には少なく分配し、合計が 100 円になるようにしてください。

生き物の生息空間となり 身近な生き物や地域固有 の生き物を守るみどり	CO ₂ の吸収源となり 地球温暖化を緩和する みどり	日射の緩和等により 都市の気温の上昇を 緩和するみどり
円	円	円
水害の軽減など 自然災害による 被害を軽減するみどり	避難地や防災拠点として 災害時の生活を 復旧・支援するみどり	水田や畑、果樹園などの 農業活動の場となる みどり
円	円	円
子どもの遊び場や 散策の場となる みどり	癒しや安らぎをもたらし、 精神衛生を保つ みどり	まちの美観、 郷土の風景を形成する みどり
円	円	円
その他(具体的なものがあれば以下にご記入ください)		支払う対象がない
円		円

合計 100 円

※市内の緑の評価を行うためのデータ取得を目的とした仮定の設問です。実際に費用を支払うものではありません。

最後に、朝霞市の緑づくりについて、アイデア・ご要望等がありましたら、
ご自由にお書きください。

ご協力、ありがとうございました。

※ 見出しの○番号は特記仕様書10業務内容の番号に整合しています。